



四万十つるの里づくりの会 平成30年度取り組みダイジェスト

平成30年度は、地域の方々の協力、セブン-イレブン記念財団や四国クリエイティブ協会からの助成を得て、以下のような活動を行いました。また、「四万十川自然再生事業」に取り組んでいる国土交通省とも連携しながら取り組みました。



取り組みの様子は
ホームページで
公開中!!

<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>



平成30年

年間を通じて

江ノ村箇所でのツルのえさ場・ねぐらづくり

期間 ■ 通年

《実施内容》セブン-イレブン記念財団の助成金で江ノ村箇所の休耕地を借り上げ、地元で農業を営む会員に稲作を行ってもらい、収穫後にツル類の餌となる二番穂を残しました。

水田に残した二番穂 →



6月

夏の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成30年6月28日(木) 10:00~12:00

場所 ■ 四万十市立東中筋中学校、中筋川中山箇所

参加者 ■ 約50名(東中筋小学校6年生16名、東中筋中学校1年生17名、その他スタッフ等)

共催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》教室で、越冬地整備や飛来状況調査などの当会の活動と国土交通省の四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)について、子どもたちに説明しました。その後、ツル類が飛来した時の餌となることを願い、平成25年度にマナヅルが越冬した中山箇所の湿地で田植えを行いました。

↓教室での学習



↑田植え(中山箇所)



10月

平成30年度総会

日時 ■ 平成30年10月10日(水) 16:30~17:30

場所 ■ 中村商工会議所(3F 大会議室)

参加者 ■ 18名

《実施内容》前年度に越冬したナベヅル等5羽の行動から得られた知見について報告し、当年度も「ツルの飛来状況調査」、「ツルのえさ場・ねぐらづくり」、「ツルの自然体験学習会」、「四万十つるの里祭り」の基本4事業を継続することを決議しました。



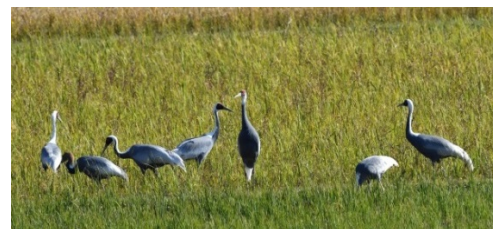
ツル類の飛来状況調査

期間 ■ 平成30年10月下旬~平成31年2月中旬

《実施内容》ツル類の飛来時の行動を把握するために、高知野鳥の会や国土交通省中村河川国道事務所と連携し、四万十市内に飛来したツル類の種類・羽数、飛来場所を記録しました。毎日、夜明けにねぐらにいる種類と羽数を確認し、ねぐらから飛び立った後は、水田地帯を巡回して降りている場所(えさ場)と羽数を確認しました。日中にえさ場を飛び立った際には、過去にツル類が利用したことのある場所を探索し、夕暮れ時にはねぐらに戻ってくるかも確認しました。

《調査結果概要》

- ・ナベヅル1羽が、平成30年10月29日に、当会が整備している江ノ村箇所に飛来したのを皮切りに、最大で109羽(ナベヅル102羽、マナヅル7羽)が四万十市に飛来しました。
- ・ナベヅルは12月中旬にいなくなりましたが、マナヅル7羽が越冬しました。当地では、前年度もナベヅル等5羽が越冬しており、40年ぶり、平成になって初めての2年連続の越冬となりました。
- ・ツル類は、昼間は中筋川流域の水田で主に二番穂や落ち穂を食べて過ごしていましたが、くちばしを土中に深く突き刺して、草の根のようなものを食べている様子も確認できました。
- ・ねぐらは四万十川の砂州で、陸からの外敵の襲来の可能性が低い場所をよく利用していました。



↑越冬した7羽のマナヅル(H30.11.2)



←ねぐらで休むナベヅル(H30.10.31)

飛来状況調査で確認したツル類の様子



↑警戒するナベヅル(H30.11.15)



↑飛翔するナベヅル(H30.12.1)



↑水田の土中や畦にくちばし突き刺して採餌するマナヅルの様子(左:H30.12.2、右:H31.2.7)

11月

秋の「ツルの自然体験学習会」

日時 ■ 平成30年11月2日(金) 10:00~12:00

場所 ■ 四万十市立東中筋中学校、江ノ村箇所

参加者 ■ 約50名(東中筋小学校6年生16名、東中筋中学校1年生17名、その他スタッフ等)

共催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》教室で夏の学習会の復習をした後、江ノ村箇所の水田に移動し、ツルを呼び寄せるための「デコイ」の設置、水田の畦の草刈り、啓発看板の清掃を手伝ってもらいました。また、用水路で生物調査を行い、トンボのヤゴやカワムツなどの魚が生息する豊かな自然環境が江ノ村箇所に再生していることを実感してもらいました。

畦の草刈り →

↓用水路の生物調査



デコイの設置 →



12月

第10回 四万十つるの里祭り

日時 ■ 平成30年12月1日(土) 10:00~14:00

場所 ■ 四万十市立東中筋中学校

来場者 ■ 約1,000人

後援 ■ 四万十市、四万十川自然再生協議会

協賛 ■ (一社)四国クリエイティブ協会

《実施内容》今回もツル類の写真・パネル展や野鳥の巣箱づくり体験、四万十の野草がゆが味わえる「ツル食堂」などの様々な催しで、「ツルの里づくり」をPRしました。小学生が育てたお米の販売には長蛇の列ができました。

写真・パネル展 →



↑小学生のお米販売

野鳥の巣箱づくり →



平成31年

1月

西予市ツル類越冬地視察



日時 ■ 平成31年1月29日(火)

場所 ■ 愛媛県西予市宇和

参加者 ■ 13名

《実施内容》四万十市とのツル類の行き来が確認されている西予市を訪れ、えさ場・ねぐらの状況を視察しました。西予市ではため池や水を張った水田がねぐらとなっていました。また、ツル類の保護活動を行っている方々と今後も情報交換を行っていくことを確認しました。

会報で取り組みを発信！ 四万十つるだより Vol.24 (H31.1.28発行)

- 地域の回覧や行事等で配布し、当会の活動を紹介しています。
- 本号では10回目を迎えた「四万十つるの里祭り」を特集するとともに、国土交通省が中筋川で行った「河川の連続性の確保(樋門の段差解消)」について紹介しました。

